アフリカ経済情勢(2023年11月第1・2週)

【ポイント】

- 南スーダンのサルバ・キール・マヤルディット大統領は、次回の通常 EAC 首脳会議で東アフリカ共同体 (EAC) 首脳会議の議長に就任すると予想されている。(下記1(6)参照)
- アフリカ成長機会法 (AGOA) が 2025 年 9 月の期限切れに近づいており、アフリカ諸国は 10 年間の延長を主張中。(下記1(7)参照)
- 今世紀に入ってから、中国企業はアフリカで、約 20 の港、80 の大規模発電所、6,000 キロの高速道路の建設を支援。(下記1(9)参照)
- エチオピアの首都であるアディスアベバの環境保護局は、大気質を監視し、大都市における大気汚染に取り組むため、新たな自動車排気ガス規制を起草。(下記2(12)参照)

1 アフリカ全般

- (1) パン・アフリカ大学学長のジーン・クリディアティ教授は、2023 年 10 月 27 日にパン・アフリカ大学の本部であるカメルーンのヤウンデで正式に任命された。(30 日、AU 事務局)
- (2) ドイツは、西アフリカ経済共同体 (ECOWAS) に 8,100 万ユーロを拠出し、治安、インフラ格差、気候変動などの問題に取り組む。(30 日、Nairametrics)
- (3) 太陽光発電の普及を推進する国の同盟 (インド主導) が、アフリカでのミニグリッドや屋上設置などの太陽光発電プロジェクトに約 3,500 万米ドルを提供することを発表予定。(1 日、AP)
- (4) サハラ砂漠以南のアフリカ諸国がアメリカ市場に無税でアクセスできるようにする米国プログラムの延長は、南アフリカで始まる米国のアフリカ成長機会法 (AGOA) 貿易フォーラムの議題の大変を占めると予想。(2 日、Africa News)
- (5) サウジアラビア、アフリカ諸国と 5 億米ドル以上の取引に調印へ。(9 日、Reuters)
- (6) 南スーダンのサルバ・キール・マヤルディット大統領は、次回の通常 EAC 首脳会議で東アフリカ共同体 (EAC) 首脳会議の議長に就任すると予想されている。(9 日、The East African)
- (7) アフリカ成長機会法 (AGOA) が 2025 年 9 月の期限切れに近づくとつれ、アフリカ諸国は 10 年間の延長を主張し、米国市場への免税アクセスを提供するその役割を強調。(9 日、Africa News)
- (8) アフリカは 2030 年までに気候変動の影響により年間約 300 億ドル、国内総生産 (GDP) の 15% を損失する可能性があるという国際金融専門家が述べた。(10 日、AA)
- (9) 今世紀に入ってから、中国企業はアフリカで約 20 近くの港、80 の大規模発電所、6000 キロの高速道路の建設を支援してきた。(10 日、English News)

2 アフリカ各国

- (1) 国際金融公社 (IFC) は、ケニア、タンザニア、コンゴ民主共和国 (DRC) の企業に対し、長期および短期の融資として 29 億ドルを供与した。(30 日、The East Africa)
- (2) ウガンダと中国、DX 促進に関する協定に署名。(30 日、Monitor)
- (3) コンゴ民主共和国 (DRC) とウガンダは、それぞれの国民のビザを免除すると発表。(30 日、The Africa Report)
- (4) 権侵害を抑制する措置を講じておらず、民主化も進んでいないとして、アメリカは、ウガンダ、ガボン、ニジェール、中央アフリカの 4 カ国を、アメリカとアフリカの特別貿易プログラム AGOA から除外。(1 日、

independent)

(5) WHOによると、7月にギニア東部でジフテリアの流行が始まって以来、少なくとも62人の感染者が死亡。(1日、RFI)

(6) 15社以上のジンバブエ企業が中国の輸入博覧会に参加。(1日、English News)

(7) IMFとガンビア、約1億米ドルの3年間の新たな支援パッケージについて、スタッフレベルで合意に達した。当該プログラムは、合意された経済政策と改革を支援するもので、インフレと為替圧力に対処し、債務を削減し、国の成長を促進させることを目的としている。(2日、Reuters)

(8) ジンバブエ、2023年の9ヶ月間にて、リチウム輸出で2億900万米ドルを獲得し、昨年のほぼ3倍の収入を得たと発表。(2日、Reuters)

(9) 世界銀行とエチオピア政府は、世銀が融資した150億ドル相当のエチオピアにおける43のプロジェクトの実施状況の評価を終了。(3日、New Business Ethiopia)

(10) ルワンダ、アフリカのすべての人々のビザなし渡航を発表。(3日、Africa News)

(11) コンゴ民主共和国、妊産婦と新生児の死亡率削減のため無料出産ケアを提供。(6日、Guardian)

(12) エチオピアの首都であるアディスアベバの環境保護局は、大気質を監視し、大都市における大気汚染に取り組むため、新たな自動車排気ガス規制を起草したと発表。(8日、Herald)

(13) ケニア電力、EV充電スポット設置に約6万6,000米ドルを準備。(8日、The Africa Report)

(14) ナミビア、アフリカ初の脱炭素鉄工場の建設に着手。(8日、Reuters)

(15) 南アフリカは8基の石炭火力発電所を計画よりも長期間稼働させる計画で、パリ気候協定に基づく拘束力のある2030年の炭素排出目標を達成できないことを政府高官3人が認めた。(南アフリカは世界で11番目に大きな温室効果ガス排出国であり、一人当たりの排出量は世界で最も多い国の一つ)(9日、Reuters)

(16) 米自動車大手フォードの南アフリカ部門は同国でのハイブリッド車生産に52億ランド(約2億8100万ドル)を投資すると発表。(9日、Reuters)

(17) ソマリア、今月中にもEAC加盟の可能性。(10日、The East African)

以上